

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：令和2年11月26日

## ICTを活かした**幼児教育実証**

「数・量・図形」の体系的な遊びの活動と  
子ども達の活動記録をセットで実践



この実証は、凸版印刷(株)と市教育委員会との共同研究事業として市内公立3園で実施中

### <実証のねらい>

「数・量・図形」の体系的な遊びの活動と、子ども達の活動記録をセットで実践。

- ① 幼児期から小学校への接続に向けて【思考・表現の基礎となる力】や【学びに向かう力】の育成
- ② より質の高い保育を実践する保育者スキルの向上

幼稚園や保育所でのかずの体験を、園児にとっても、先生にとっても「楽しい！」ものにするために…

挑戦する人と応援するまち



### できる-と

「かずの概念を身につける」  
カリキュラム・プログラム

- 数・量・図形への関心
- 試行錯誤や工夫
- 主体的に考える
- 協力・学び合う
- 粘り強く挑戦する

園ならではの  
対話的・主体的な  
学び・あそび活動の充実

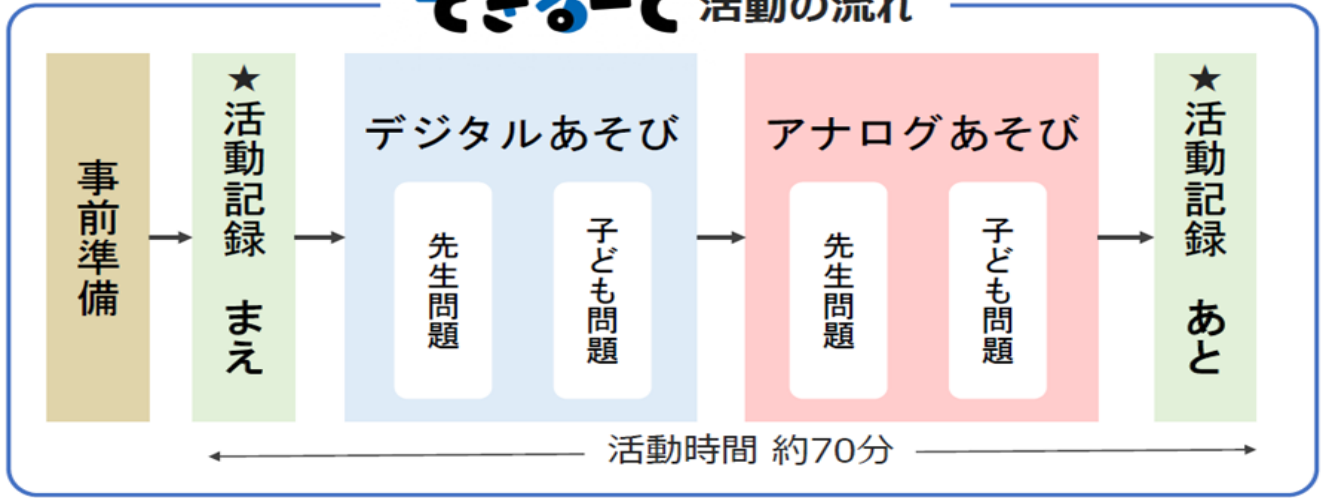


### 活動記録

「とる」「ためる」「みえる」で  
最適な環境構成&サポート

- 「興味・関心」の可視化
- 記録の共有による興味の喚起
- 意欲をさらに引き出す材料
- 子どもに対する保育者同士・  
家庭と園の共通理解を深める

# できるーと 活動の流れ



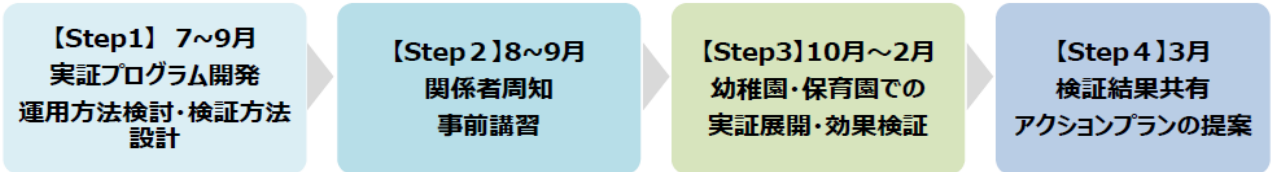
**デジタルあそび「たかさくらべ」**  
どちらが高く積めるかな



**アナログあそび「高おに」**  
鬼に捕まらないように高いところに登って逃げよう



**活動記録**  
その日ががんばったことなどを自分のことばで記録



実証園：三川幼稚園、浅羽西幼稚園、笠原こども園  
対象児：年長児

検証・検討  
ポイント

## できるーと 検証ポイント

できるーとの活動において・・・

- かずの概念・数学的思考力の形成が見られたか
- 数・量・図形への関心が高まったか
- 学びに向かう力が育まれたか
- 情報活用能力が育まれたか

園での自由な活動への波及効果

- 数・量・図形に関する言動が現れたか
- 子ども同士の対話についてポジティブな言動が現れたか

デジタルとアナログを組み合わせた新しい「あそび活動プログラム」の開発により、お子さんの「思考・表現の基礎となる力」や「学びに向かう力」の向上のほか、保育の質の向上に繋がるサービスが提供できればと考えております。



開発事業者のコメント

## 活動記録 検討ポイント

記録の方法

- 活動前後の内発的動機づけや自己効力感の有効な記録方法
- 現場に負担感のない方法

記録の活用方法

- 子どもの意欲を引き出す関わりを生む効果的な材料となるか
- 家庭でさらに学びをひろげる材料としての活用・共有の方法
- 保育者向けのフィードバックの観点・表現方法

今まで会話の少なかった園児が、生き生きと話すようになった。

自分で考えて遊びを発見したり 取り組んだりする姿が見られた。

グループで話し合う姿が増えている。



実証園の保育士さんのコメント